



2018 年 7 月 11 日

アウトウニオンの誇るシルバーアロー 25 周年を迎えたフェスティバル オブ スピードへ

- **Audi Tradition は Auto Union Type C レーシングカーと Wanderer Streamline Special を出展**
- **英国で開催されるグッドウッド フェスティバル オブ スピードは 25 周年を迎える**

2018 年 7 月 6 日 インゴルシュタット：Silver Arrows (シルバーアロー)の通称を持ち、アウディの前身であるアウトウニオンが誇るレーシングカーが、グッドウッドのシルバージュビリー (25 周年) を祝います。グッドウッド フェスティバル オブ スピードは世界最大のヒストリック モータースポーツ イベントとして知られ、25 年目となる今年は 7 月 12 日～15 日に開催されます。Audi Tradition (アウディ トラディション) は 100 年以上にわたる自身の歴史から、シルバーに輝くレーシングカー 2 台をエントリーリストに載せました。1936 年製 Auto Union Type C と、1939 年製 Wanderer Streamline Special です。

グッドウッドに詰めかける 20 万人の観衆にとって、Auto Union Type C は旧知の仲でしょう。このクルマの出走は、これまでイベントのハイライトであり続けてきました。520ps を発生する V 型 16 気筒エンジンはドライバーの背後にミッドマウントされ、かつて Auto Union Type C は 340km/h という途方もない最高速に到達しました。1936 年に初めて公開されたとき、このクルマはそのあまりに未来的なエンジニアリングによって、人々を驚嘆させました。同じ年、名手ベルント ローゼマイヤーのドライビングによって、ヨーロッパ選手権とドイツ ヒルクライム選手権を獲得しています。

今年、Auto Union Type C のステアリングを握るのは、ハンス-ヨアヒム シュトックです。この事実は、アウディスポーツ史上のドライバーたちにとって、意義深いことです。なぜならば 1930 年代、シュトックの父ハンスはアウトウニオン チームのメンバーであり、ことヒルクライム レースとなれば、ほぼ無敵を誇った名ドライバーでした。ハンス-ヨアヒム シュトックは、Silver Arrows をドライブするときには必ず、父が実際に使っていたレーシンググローブとゴーグルを身に着けます。

Audi Tradition がイベントの 25 周年に向けて送り込むもう 1 台は、Wanderer Streamline Special で、グッドウッドでお披露目されるのは初めてです。80 年前、アウトウニオン AG はこの流麗なマシーンを 3 台投入し、当時世界でもっとも過酷と言われたリエージュ ローマ ラリーを戦いました。リエージュ ローマ間を往復する全行程は 4000km 超におよび、約 100 時間のレース時間中、給油以外の停車はほとんどできず、車速は最低でも 50km/h 以上が要求されました。1938 年にはフィニッシュラインを超えられたのは、全エントリーのうち 3 分の 1。1939 年には出走した 51 台のうち 21 台のみが完走しました。既述の 3 台のヴァンダラー レースカーは、すべてこの 21 台のうちに含まれています。その結果ヴァンダラーは、ワークスチームにとってもっとも重要な賞であったブランド ランキングを獲得しています。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。